

Rotary International District 2570 Governor's Monthly Letter

No.12 1st June 2011

6月はロータリー親睦活動月間です。



第4グループ
高柳 育行
(本庄 RC)

第2グループ
岡野 元昭
(新座 RC)

第3グループ
磯田 力彦
(新所沢 RC)

第1グループ
金子 圭典
(鶴ヶ島 RC)

第5グループ
澤田 将信
(熊谷南 RC)

ガバナー
月信

2011年6月1日
第12号

西川年度を支えた五人衆
第2570地区 2010 - 2011年度ガバナー補佐

『困難に立ち向かう』

ガバナー 西川 武重郎

6月 は親睦活動月間です。同時にガバナー任期の終了の月間でもあります。この1年間を振り返りますと、信じられない二つの事態に遭遇したことを強く思わざるをえません。ガバナーの任務は、大きく二つあると思います。一つは、任期前半の公式訪問であり、もうひとつは任期後半の地区大会だと申せましょう。この大きな任務のなかで、信じられない二つの事態は起こったのです。行田RC公式訪問の席上で小池英輔バスターガバナーが突然お亡くなりになられたことが一つ目であり、3.11東日本大震災のために4月2・3日開催予定の地区大会を中止したことがもう一つの事態でした。

しかし、いつまでも悲しみに暮れているわけにはまいりません。この世に残された私たちは、自然が営むこうした気まぐれやいたずらに打ち勝って明るい将来を築いていく長い道程を力強く歩いていきたいと思います。その時に勇気を与えてくれるのは、周囲にいる隣人であり友人です。ポール・ハリスは1905年に経済恐慌に揺れる社会の中で、友人たちと親睦を図ることで不況に対処しようとロータリークラブを立ち上げたことはみなさんご承知のとおりです。こうした二つの事態を経験しましたが、私達は、ロータリーの原点に立ち帰って、困難に立ち向かっていかねばなりません。

信じられない二つの事態に遭遇する前もそして遭遇後も、私は多くの友人に支えられてきています。そしてその友人たちの力をお借りしながら今の困難を乗り越えようとしています。その方々は、ロータリー活動を通じて知り合った多くのロータリアンです。それは暗闇を航海する帆船を導く灯台のような存在でした。言葉が適



当ではないかもしれませんが、こうした方々との親睦はととてもありがたいと感謝しています。

地区役員組織表を一覧しなおしますと、ガバナーには5本の系統線が引かれていることが判ります。ひとつは国際ロータリーに繋がり、二つ目はガバナーエレクト、三つ目は地区大会などを支えるグループに繋がり、四つ目は各部門の日常活動グループに繋がり、五つ目はガバナー補佐に繋がります。地区を構成するグルー

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2012年度 国際ロータリーのテーマ



プ活動をリードするガバナー補佐の任務ですが、公式訪問を支えるキーパーソンとなります。こうした5本の系統線を通じて私は親睦を深めることができたと自負しています。

ガバナー補佐に注目してみたいと思います。『ロータリーのいろは』(363-JA-1102)によりますと、ガバナー補佐の役割はガバナー公式訪問の手筈調整を援助することを含んで規定しています。私の任期前半で公式訪問を滞りなく円滑

に進行してくれたのはこうしたガバナー補佐に負うところが大きいのです。クラブのみならず地区の親睦や情報提供のためにも貢献するのがガバナー補佐の役割です。地区幹事やガバナー補佐五人衆はいつでも私の影になり支えてくれました。この場を借りて感謝申し上げます。

これからも、2570地区各クラブの親睦を支援してくださるよう「西川年度を支えた五人衆」にお願いする次第です。

「家族」、「継続」、「変化」。

2011～2012年度国際ロータリー第2570地区の地区協議会は行田さくらロータリークラブをホストクラブとして、4月24日に行田市にあるものづくり大学で開催されました。

立原年度を迎える心構えを十分に固める目的です。

【第一本会議】

午前10時、半田太ホストクラブ幹事司会のもと、細井保雄ホストクラブ実行委員長の開会の言葉、そして立原雅夫ガバナーエレクトの点鐘で第一本会議プログラムの幕が切って落とされました。国歌斉唱、奉仕の理想斉唱に引き続き西川武重郎ガバナー、加藤玄静地区研修リーダーの挨拶がありました。来賓挨拶は、工藤正司行田市長と、飛内圭之ものづくり大学学長代理でした。歓迎の言葉は橋本恭一ホストクラブ会長でした。

立原ガバナーエレクト（GE）により、『次年度の目標と指針』として目標と方針が説明されました。2011～2012年度RIテーマはカルヤン・パネルジー会長により『こころの中を見つめよう、博愛を広げるために』と決まりました。立原GEは、そのテーマには3つの強調事項があると説明しました。それは次の通りです。

愛を広げるために



第1 強調事項「家族」:

素晴らしい家族・家庭を築きそれぞれの地域社会への貢献、そして世界への奉仕を！

第2 強調事項「継続」:

ロータリーの奉仕として安心な水・疾病の予防・識字率の普及などの活動や新世代に未来を託し、世界平和に向かって長期的な計画に基づき継続実行する！

第3 強調事項「変化」:

時代の変化を望むなら自分自身が変化の担い手とならなくてはならない！（要約）

このRIテーマを3つの強調事項として受けて、立原GEは第2570地区のテーマを『Smart Rotaryを探して』～継続できるロータリークラブとは～『ガンバレ！日本のロータリークラブ』と決定しました。東日本大震災から一日も早く安定した日々が過ごせるように救



援を促進し、日本のロータリーとして今こそ日本復活に向けて我々は力を示す時だ、と強調しました。1日も早く「明るく・楽しく・美しい」ロータリークラブライフが遅れるよう頑張ろうではありませんか、とのメッセージです。

「ロータリーは変化する時代に対応してより良い方向を目指しているのか」自問自答しつつロータリーは何かを考えることを立原GEは提唱しています。そして、各クラブ、メンバーはお互いの親睦を深め、RIの世界共通の目的に沿って更に友情の輪を広げる活動を通してロータリー活動のなんたるかを、皆様と共に探っていききたいとの意向表明がありました。

立原GEからロータリー活動の7つの重点事項が提唱されました。

①各クラブは大いに、自由活動を！

独自性・独創性を生かす

②会員増強を

世界的な活動とブランドを地域の活動に生かす

若者や女性にも理解を求める

情報ツールの応用、会議の在り方の研究

③職業奉仕から社会奉仕へ！

異業種交流

職業の発展が社会への奉仕に繋がる

公共のイメージとロータリー認知度の向上

プライダル事業 世界遺産 ロータリーの森 アイバンク

④時代に見合った国際奉仕を！

ポリオ撲滅 Final inch Polio End Polio Now

識字率向上 里親運動支援 地雷撤去

交流方法や奉仕形態の変化に対応

⑤次世代の青少年・青年へ！

新世代奉仕 インターアクト ローターアクト

RYLA 青少年交換プログラム

米山記念奨学金

⑥みんなで語ろうロータリー！

ガバナー補佐は各グループ内クラブの先導役

会長・幹事はリーダー会議の活用で現状把握や情報交換を

研修リーダーの確立 RLIシステム導入

⑦『Smart Rotaryを探して』～継続できるロータリクラブとは～

新プログラムの推進

RIの長期計画（戦略的計画）が未来への基本計画

ロータリー財団の「未来の夢計画」との目的共有を設定

新しい目的の創造

立原GEは「第2570地区は、大震災に伴う事態の対応はもちろんのこと、さらなる新時代に向けて大いなる夢と希望を抱き、楽しいロータリークラブになることを目標に邁進します。そして『明るく！楽しく！美しく！』を信条にロータリー活動を行います」と方針を締めくくりました。

その後、立原GEから次の3件が提案されました。

1. 次年度分担金及び予算承認の件
2. 次年度地区協議会を和光RCが開催する件
3. その他

立原GEの方針説明と提案が終了したあとで、駐日モンゴル特命全権大使レンツェンドー・ジグジッド氏からRI2570地区あてに感謝状が贈呈されました。同大使は、留学経験を生かし、流暢な日本語で謝意を表明しました。

西川ガバナーから鈴木秀憲ガバナーノミニの紹介があり、ご当人から挨拶を戴きました。

行田RCから東日本大震災支援活動の報告があり、午前の会議を終了しました。

【部門別研修会】

昼食後、午後1時から午後2時40分まで部門別研修会が行われました。詳細については、別途地区協議会報告書をご参照ください。

【第二本会議】

午後2時50分から、研修リーダー講評が加藤玄静地区研修リーダーにより行われました。引き続き次年度ホストクラブ会長挨拶が和光RC阿久津馨会長エレクトから挨拶がありました。閉会の言葉が矢澤大和ホストクラブ副実行委員長からあり、立原ガバナーエレクトの点鐘で地区協議会は閉会となりました。

地区副幹事 月信担当 内山 純夫 (志木RC)

ウェスタン・オーストラリアへの訪問

日豪青年相互訪問委員会委員長 **金子 章** (本庄)

日豪青年相互訪問事業として、1月29日から2月12日の間に8名の豪州チームを日本にて受入をし、その一ヵ月後の3月12日から3月26日には、6名の日本団員と共にウェスタン・オーストラリアのパスへ行ってきました。

出発日3月12日(土)は東日本大震災の翌日で、各種交通機関が停止や制限され、成田空港も閉鎖中、更にフライト予定も未定の状況でした。成田空港は、昨日から足止めをされた人たち、フライトの発着もまま成らぬ状況で待機をしている人たち等、多くの人でごったがえしておりました。どうにか集合時間には団員全員が顔を揃える事ができ、その後空港も再開され、運よく私たちの搭乗した便は定刻に旅立つ事が出来ました。

翌朝13日、パス空港に到着すると、顔なじみのオーストラリアの団員とそのご家族が私たちを待って居てくれました。また、震災後の日本からの訪問団と



いう事でテレビのクルーもそこに待機しており、その様子は同日の夕刻のニュースで放映されました。

オーストラリアの団員をはじめご家族や他のロータリークラブの関係者など、皆、私たち、そして日本の事を大変心配し、心を痛めていると口々にしておりました。

その後、オーストラリアの団員のご家庭にホームステイするためそれぞれ向かい、この日の夕刻にはウェルカムパーティーが和やかに開催されました。2日





目以降はパース造幣局（パースミント）の見学、ヤンチェップ・ナショナルパーク、3泊4日で広大な大地を巡ったサウスウェストツアー等、様々な土地で様々な体験をする事ができました。また、ウェスタン・オーストラリア州の議事堂を公式訪問し、下院議長とお話をする機会を戴き、議会の傍聴、更には議会中日本からの訪問団として紹介もされました。

24日には、パース市中央のクィーンズガーデンにて、相互訪問35周年を祝して記念植樹の式典が行わ

れ、席上語られていた35年の歴史の重みと友好の深さを感じました。その夕刻には、サヨナラパーティーが開催されました。そして26日未明、震災の影響で日本への直行便がなくなり、時間も大幅に遅れた便で帰国の途に就きました。

日豪青年相互訪問プログラムは、今年で第35回目を迎えた2570地区の独自の歴史ある事業であります。当地区と国際ロータリー第9455地区（オーストラリア・ウエスタンオーストラリア州）のロータリークラブに係わる青年の交流を通して、両国の国際理解と信頼関係を築く事を目的とする事業です。また、次代を担うロータリアンを育成する種蒔きの要素も持ち合わせ、単なる青少年交換事業とは異なる事業でもあります。オーストラリア滞在中、私たちの滞在が安心安全で、素晴らしい時間と思い出に成る様、このプログラムを遂行するために多くのロータリアンやホストファミリーが協力し合い、私達の為に色々と配慮してくださりました。これは、35年の歳月と両国合わせ1,000名以上の団員が築いた素晴らしい友好と信頼の結果と改めて感じました。

今回、全プログラムを通して事故・トラブルもなく無事終えることができましたこと、日豪の両国関係ロータリークラブやロータリアン、そしてホストファミリー、

関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

なお、この東日本大震災に際し、差し延べられたオーストラリアからの支援と友情に心より感謝致します。オーストラリアとの絆に感謝!!!



行田RCの支援活動Ⅱ

行田 RC 会長 **蔭山 好信**

石巻市への支援ですが、第1回目のボランティア派遣は、募集が間に合わなかったことから、行田市の職員を中心に派遣いたしましたが、翌週4月15日以降は、行田市社会福祉協議会において募集したボランティアを派遣し続けております。かなりの反響があり、応募される方がバスの定員を上回っている状況となっております。また人力による作業だけの限界を感じ、当クラブ会員の主宰するNPO法人と協力して、ユニボ3台、ダンプ4台を手配し、ボランティアと共に活動しております。

当クラブでボランティアを派遣できない間も休み無くユニボとダンプを稼働させることとし、この間のオペレーターや運転手の日当を石巻市社会福祉協議会が支払ってくれるということで話をまとめました。

他方、県立騎西高校に双葉町から避難されている方々が、入浴に苦慮されていることから、当クラブ会員から、その経営する日帰り温泉施設の入浴券を格安にて提供して貰い、4月18日に1,500枚を贈呈してまいりました。



石巻市中央町、門脇町商店街へ

川越西 RC 会員 **野原 正次郎**

川越西RCの後藤知生会員(46歳)は、4月15日より4月24日迄ピース・ボートのボランティア会員の一人としてこの度の被災地の石巻へ157人のグループの中隊長として参加しました。石巻専修大学のグラウンドへテントを設営し、1テント5人位での生活、テントが雪でつぶれたり、風で飛ばされて雨が入り寝ることも出来ない時もありました。専修大学のグラウンドには自衛隊のキャンプ地の他に、約100団体以上のボランティアが2,000人以上参加しました。後藤会員は中隊長として40人の会員を統率しました。仕事は海岸沿いの中央町、門脇町の商店街(飲食店が多い)の30cm以上積もったヘドロと瓦礫の撤去が中心で、両町とも全壊か半壊でヘドロの悪臭が強く疲労の上に苦しい状態です。朝7時リーダーミーティング、ラジオ体操、現場へバスで20分かけて到着8時作業開始で午後5時まで黙々と作業をしました。朝食はクッキー・乾パン、昼食は食パン2枚、夜食はカップラーメンと菓子程度でお陰で約5Kg以上のダイエットが出来ました。



写真左から二人目が後藤会員

●諮問委員会開催

4月9日(土)、第五回諮問委員会が東松山紫雲閣にて開催されました。

議題 ・地区大会中止の件
・東日本大震災の件

4月26日(火)には第六回諮問委員会が同じく東松山紫雲閣にて開催されました。

議題 ・立原年度 日豪青年相互訪問の件

2570地区幹事 大野 栄治(志木)



日本の強さ

深谷東 RC 会長 向井 正義

突然、3月11日を境にして、日本が変えられた。東日本を襲った未曾有の大地震は大地を破壊し家族も、職場も、地域社会も大津波が呑み込んで多くの生命を奪ってしまいました。

戦後65年の中で最も悲惨な試練に直面したわけではありますが現実なのです。

この現実をどう向い合って、どう取組んでいくかが日本人としての使命であり、総員総意をもって立上れば必ずできるはずである。

今後、膨大な物資と長い時間が必要になるが更に大事なものは、全国民の一致団結した精神と有史以来育んできた大和心を被災地に送り続けることが復興への道筋となることでしょう。被災地の再興は小手先の対策では、いつか子孫達が同じ体験を強いられるでしょう。

哀しいかな、日本列島自体が地震の巣なのです。国をあげて、都市計画の根底から作り上げていくことが我々の使命ではないでしょうか。

必ず再生します、なぜなら日本は強いからです。



写真は深谷市に義援金100万円を寄付。左から幹事:新井直己、会長:向井正義、市長:小島進、社会奉仕委員長:柴崎重雄

狭山市の東日本大震災にかかわる支援策

新狭山 RC 会長 村田 昇

5月18日現在 入居者 83世帯 315人
10軒以上が戻られた

1. 会社に出社することができた
2. 猪苗代町のホテルやマンションへ
3. 他県の親戚へ

入居者の被災地

浪江町から 23世帯
南相馬市から 21世帯
富岡町から 10世帯
大熊町から 9世帯
その他

9月以降は国の支援策によって対応する

4月末の義援金	日本赤十字へ送る
狭山市民から	6,691,500円
狭山市職員から	1,500,000円
狭山市議会から	1,110,000円

狭山市の支援策に対して	7,000,000円
4月1日 狭山RC	200,000円
新狭山RC	200,000円
狭山中央RC	200,000円

●歴代地区幹事会 5月9日 東松山市「桂馬」

今年度会長 宮前洋一氏(秩父RC)が退任され、新会長に小山博氏(行田RC)が就任されました。今回も、地区幹事を経験した中で活発な意見交換がなされ、有意義なひと時でした。

2570地区幹事 大野 栄治(志木)

写真後列左から:竹間暎(東松山)、大野栄治(志木)、大澤衛(和光)、栗山昇(朝霞)、関口守正(坂戸)、伊藤禎二(川越)、丸岡章二(吹上)
前列左から:小林祐造(東松山)、宮前洋一(秩父)、小山博(行田)、今泉清詞(川越)





表彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



野中 弘之
(熊谷東RC)

ベネファクター



高田 直樹
(熊谷南RC)

米山功労者

4 回



遠藤 好一
(入間南RC)

3 回



小幡 直樹
(狭山中央RC)

1 回



市之瀬 正靖
(志木RC)

1 回



金剛 光裕
(志木RC)

新入会員のご紹介

(東松山RC)



江野 幸一
(有)夢路架

(紹介者)中川 正明、竹ノ谷 誠

(坂戸RC)



清水 要
医療法人 刀仁會

(紹介者)岩田 武

(熊谷東RC)



喜澤 秀行
(株)JTB関東 熊谷支店

(熊谷西RC)



高橋 孝夫
明治安田生命保険相互会社

(紹介者)岡 千秋

出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)										女性会員
			当 月	通 算	年初 (7/1)	4月 末現在	4月 入会数	4月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	4月 度純増数	本年 度純増数	本年 度純増数	本年 度純増数	
第1グループ (1RC)	川越	3	89.8	84.4	85	82	0	0	1	4	0	-3	0	0	
	東松山	3	67.9	72.3	34	36	0	0	2	0	0	2	1	0	
	小川	4	85.0	77.2	11	11	0	0	0	0	0	0	1	0	
	坂戸	4	78.9	90.2	24	26	1	0	3	1	1	2	0	0	
	越生毛呂	4	72.2	77.0	27	28	0	0	1	0	0	1	2	0	
	川越小江戸	4	94.4	94.7	17	16	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	川越西	4	91.1	79.2	17	14	0	0	1	4	0	-3	1	0	
	鶴ヶ島	4	79.0	75.2	30	28	0	0	0	2	0	-2	3	0	
	川越中央	4	85.7	82.0	31	32	2	0	4	3	2	1	0	0	
	坂戸さつき	3	76.2	74.7	21	22	0	0	2	1	0	1	5	0	
	東松山むさし	4	78.8	85.7	34	35	0	0	2	1	0	1	4	0	
	小計		81.7	81.1	331	330	3	0	16	17	3	-1	17		
第2グループ (6RC)	朝霞	4	100.0	99.8	35	35	0	1	2	2	-1	0	0	0	
	ふじみ野	4	85.9	84.3	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	
	志木	4	93.2	94.7	50	50	0	0	1	1	0	0	0	0	
	富士見	4	84.7	84.7	45	43	0	0	1	3	0	-2	0	0	
	新座	3	88.9	88.9	27	28	0	0	2	1	0	1	3	0	
	和光	4	94.4	91.7	19	21	0	0	2	0	0	2	2	0	
	朝霞キャロット	4	82.7	89.4	11	13	0	0	2	0	0	2	0	0	
	志木柳瀬川	4	90.9	92.1	12	11	0	0	0	1	0	-1	4	0	
	新座こぶし	4	95.3	96.0	15	16	0	0	1	0	0	1	3	0	
	小計		90.7	91.3	230	233	0	1	11	8	-1	3	12		
第3グループ (12RC)	入間	4	85.2	83.1	45	43	0	0	1	3	0	-2	1	0	
	所沢	3	83.5	84.5	60	57	0	0	0	3	0	-3	4	0	
	飯能	2	93.9	91.6	58	57	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	狭山	2	100.0	99.5	22	20	0	0	0	2	0	-2	1	0	
	新所沢	4	84.7	85.1	28	26	0	0	0	2	0	-2	1	0	
	日高	1	91.3	86.3	23	28	0	0	5	0	0	5	4	0	
	所沢西	3	82.9	91.2	43	43	0	0	1	1	0	0	1	0	
	新狭山	2	91.2	91.7	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	
	所沢東	4	86.6	88.9	38	39	0	0	1	0	0	1	3	0	
	入間南	3	75.6	87.9	35	35	0	0	0	0	0	0	0	0	
	所沢中央	4	88.4	89.5	37	37	0	0	2	2	0	0	0	0	
	狭山中央	4	87.9	83.1	32	32	0	0	0	0	0	0	5	0	
	小計		87.6	88.5	447	443	0	0	10	14	0	-4	20		
第4グループ (12RC)	深谷	3	76.0	73.9	58	59	0	0	1	0	0	1	8	0	
	本庄	4	73.5	81.5	67	67	0	0	0	0	0	0	7	0	
	秩父	3	75.4	77.6	52	52	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄居	3	82.9	83.3	35	35	0	1	1	1	-1	0	1	0	
	児玉	4	59.1	66.3	12	11	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	岡部	3	80.0	81.0	18	19	0	0	1	0	0	1	2	0	
	深谷東	3	67.1	69.4	64	71	0	0	9	2	0	7	0	0	
	上里	2	66.7	81.2	8	7	0	0	0	1	0	-1	0	0	
	川本	3	95.0	92.5	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	皆野・長瀬	4	83.4	84.9	17	16	0	2	1	2	-2	-1	2	0	
	本庄南	4	84.5	83.3	20	22	0	0	2	0	0	2	0	0	
	深谷ノース	3	62.6	70.9	36	32	0	1	0	4	-1	-4	0	0	
	小計		75.5	78.8	399	403	0	4	15	11	-4	4	20		
第5グループ (10RC)	熊谷	3	89.3	79.0	89	91	0	0	6	4	0	2	3	0	
	行田	4	80.8	78.2	54	58	0	0	7	3	0	4	3	0	
	羽生	4	77.7	79.4	36	38	0	0	2	0	0	2	2	0	
	加須	4	91.7	87.3	37	39	1	0	2	0	1	2	1	0	
	熊谷西	3	79.6	82.7	21	21	1	1	1	1	0	0	0	0	
	行田さくら	4	79.3	77.8	39	40	0	0	2	1	0	1	0	0	
	熊谷東	4	90.9	92.1	33	33	1	1	1	1	0	0	2	0	
	吹上	4	91.6	92.4	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
	熊谷龍原	4	85.2	89.6	27	27	1	0	1	1	1	1	0	0	
	熊谷南	3	55.2	70.1	28	29	0	0	1	0	0	1	1	0	
	小計		82.1	82.9	376	388	4	2	23	11	2	12	12		
54RC	クラブ会員数				1,783	1,797	7	7	75	61	0	14			
	女性会員数		83.2	84.3	77	81	0	2	7	3	-2	4			

6月のスケジュール

6月

3	金	RLI説明会
4	土	国際親善奨学生合格者アプリケーションガイダンス
10	金	危機管理委員会
11	土	地区会合
12	日	青少年交換閉講式 米山学友総会
18	土	R財団第5回オリエンテーション
19	日	プライダル相談会

編集部から

本紙8～9ページに、3.11大震災支援活動報告を掲載しました。2570地区内の皆さんの支援活動を通じて、私達はいったいどのような支援活動ができるのだろうか、と思いを巡らせた。いとの西川ガバナーの強い思いがあります。第13号でも活動報告掲載を予定しています。今号掲載以外の各クラブのご協力をぜひお願いします。

6月はロータリー親睦活動月間です。そこで、編集子の親睦活動寸報です。1年間月信の編集を担当して、地区内の多くの方々に原稿執筆のお願いをしてきました。特に後半は、事務局が多忙を極めたため、編集子自身が直接執筆のお願いをしました。これは、とても良い親睦のきっかけになったと思います。

訃報



浅見 仁一郎様
(入間RC)

2011年3月30日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。
享年69歳
ロータリー歴
1972年7月入会 (在籍38年)



荻原 浩様
(秩父RC)

2011年5月8日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。
享年81歳
ロータリー歴
1978年1月入会 (在籍33年)

1

總集編

(埼玉県の設置案内板より)



ガバナー補佐、五人衆

E-mail=info2010@mail.rid2570.gr.jp
Website=<http://www.rid2570.gr.jp/2010/>